

2025年度 くじらと捕鯨の地域活性化受講申込書

記入日(西暦) 年 月 日

▼ 以下、記入し該当する事項に☑してください。

受講申込コース及び期間		全聴講	一部聴講
「くじら」と「捕鯨」の地域活性化	8か月	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

フリガナ 氏名			写真貼付欄 縦4cm×横3cm ・上半身・脱帽 ・モノクロ可 ・自撮り可 ・背景はできるだけ 無地が望ましい ※裏面に氏名を記入
生年月日	(西暦) 年 月 日	満 歳	
現住所	〒		
電話番号 どちらか一方でも可	(自宅)	(携帯)	
メールアドレス	※選考や講義に関するご連絡をメールで行うことがあり、またファイルを添付することがありますので、できるだけパソコンのアドレスをご記入ください(携帯のアドレスはご遠慮ください)。		
現在の職業	<input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員・団体職員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> その他		

以下、受講に際して受講者のニーズを把握してより良い講義を準備するためにお伺いします。

<p><input type="radio"/> 受講方法について</p> <p><input type="checkbox"/> 対面授業での参加希望</p> <p><input type="checkbox"/> オンライン講義での参加希望：MicrosoftのTeamsを使用。受講生アカウントを付与しますので、カメラ及びマイク機能があるPCもしくはモバイル機器とインターネット環境を準備してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 両方の可能性あり(講義によって講義方法が異なる方)主に受ける方へもチェックをお願いします。</p>
<p><input type="radio"/> 特別の配慮が必要な事項(身体面、健康面、通学面、IT環境面、家庭面など)</p> <p style="text-align: right;">受講開始後、個別にご相談いただいても構いません。</p>

2025年度 聴講希望講義表

くじらと捕鯨地域活性化 (教室：下関市立大学 本館 2F I-201 (予定)) ※教室は人数などで変更になる場合がございます。

チェック欄	講義コード	講義名	時限	開講日
「くじら」と「捕鯨」概論				
<input type="checkbox"/>	く-1-1	全体ガイダンス	9:00~10:30	4月12日(土)
<input type="checkbox"/>	く-1-2	くじらの基礎知識I(種類、生態、魚類との違い等について)	10:40~12:10	
<input type="checkbox"/>	く-1-3	くじらの基礎知識II(くじらが水産資源という考えについて)	9:00~10:30	4月26日(土)
<input type="checkbox"/>	く-1-4	捕鯨の基礎知識I(捕鯨は漁業なのか?について)	10:40~12:10	
<input type="checkbox"/>	く-1-5	捕鯨の基礎知識II(IWCと調査捕鯨、国際機関と管理について)	9:00~10:30	5月10日(土)
<input type="checkbox"/>	く-1-6	捕鯨の基礎知識III(商業捕鯨再開と現状、漁業との競合について)	10:40~12:10	
<input type="checkbox"/>	く-1-7	捕鯨の歴史I(世界の捕鯨史について)	9:00~10:30	5月24日(土)
<input type="checkbox"/>	く-1-8	捕鯨の歴史II(日本の捕鯨史について)	10:40~12:10	
<input type="checkbox"/>	く-1-9	捕鯨の歴史III(山口・下関の捕鯨史について)	9:00~10:30	6月14日(土)
<input type="checkbox"/>	く-1-10	くじらの利用と捕鯨文化I(世界とノルウェーの捕鯨文化について)	10:40~12:10	
<input type="checkbox"/>	く-1-11	くじらの利用と捕鯨文化II(日本の捕鯨文化と現状について)	9:00~10:30	6月28日(土)
<input type="checkbox"/>	く-1-12	これからの捕鯨と捕鯨産業(日本(山口・下関)の捕鯨産業について)	10:40~12:10	
「くじら」と「捕鯨」の地域活性化概論				
<input type="checkbox"/>	く-2-1	全体ガイダンス	9:00~10:30	7月12日(土)
<input type="checkbox"/>	く-2-2	水産経済から見た捕鯨I(水産と捕鯨の政策について)	10:40~12:10	
<input type="checkbox"/>	く-2-3	水産経済から見た捕鯨II(水産と捕鯨の政策について)	9:00~10:30	7月26日(土)
<input type="checkbox"/>	く-2-4	水産経済から見た捕鯨III(加工等について)	10:40~12:10	
<input type="checkbox"/>	く-2-5	水産経済から見た捕鯨IV(販売金額、消費の推移について)	9:00~10:30	9月13日(土)
<input type="checkbox"/>	く-2-6	水産経済から見た捕鯨V(戦前・戦後における捕鯨会社と捕鯨産業について)	10:40~12:10	
<input type="checkbox"/>	く-2-7	水産都市・下関の歴史・文化(「ふく」、「大手水産会社と遠洋漁業等」について)	9:00~10:30	9月27日(土)
<input type="checkbox"/>	く-2-8	水産都市・下関の現状と将来(水産都市・下関の現状と課題について)	10:40~12:10	
<input type="checkbox"/>	く-2-9	鯨肉が持つ特性と鯨文化(鯨肉の特性と鯨食文化について)	9:00~10:30	10月11日(土)
<input type="checkbox"/>	く-2-10	鯨食の普及啓発と取り組みについて(国内山口・下関の事例について)	10:40~12:10	
<input type="checkbox"/>	く-2-11	鯨の未利用部位を有効活用(鯨未利用部位を有効活用し、新たな製品化を目指す取り組みについて)	9:00~10:30	11月15日(土)
<input type="checkbox"/>	く-2-12	地域振興に「くじら」をどう活かすか(新たな捕鯨関連産業と地域振興について)	10:40~12:10	

※1 講義あたり 500 円として受講料を算出の上、振り込みをお願いします。

※この申込書に記載された個人情報は、リカレント教育センターへの当該受講に関する業務のみ利用されます。

(受講料納付について)

受講料を確認し、お近くの金融機関(ゆうちょ銀行を除く)の窓口、ATM、インターネットバンキング等でお支払いください。手数料はご本人負担となります。

《振込先》西中国信用金庫 山の田支店 (普) 0412010

合計講義数
講義

×500/講義

受講料
円

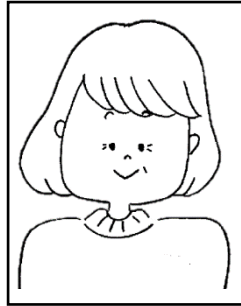
支払日: 月 日

記入例 2024年度 くじらと捕鯨の地域活性化受講申込書

記入日 2025年2月9日

▼ 以下、記入し該当する事項に☑してください。

受講申込コース及び期間		全聴講	一部聴講
「くじら」と「捕鯨」の地域活性化	8か月	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

フリガナ 氏名	ヤマグチ ミツコ 山口 みつこ		
生年月日	(西暦) 1955年 5月 1日	満 69歳	
現住所	〒987-6543 山口県下関市大学町9丁目876番地		
電話番号 どちらか一方でも可	(自宅) 876-543-210 (携帯) 012-3456-7890		
メールアドレス	mitsuko.yamaguchi@~personal computer. email ※選考や講義に関するご連絡をメールで行うことがあり、またファイルを添付することがありますので、できるだけパソコンのアドレスをご記入ください(携帯のアドレスはご遠慮ください)。		
現在の職業	<input checked="" type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員・団体職員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> その他		

以下、受講に際して受講者のニーズを把握してより良い講義を準備するためにお伺いします。

<input type="radio"/> 受講方法について <input checked="" type="checkbox"/> 対面授業での参加希望 <input type="checkbox"/> オンライン講義での参加希望：Microsoft の Teams を使用。受講生アカウントを付与しますので、カメラ及びマイク機能がある PC もしくはモバイル機器とインターネット環境を準備してください。 <input checked="" type="checkbox"/> 両方の可能性あり（講義によって講義方法が異なる方）主に受ける方へもチェックをお願いします。
<input type="radio"/> 特別の配慮が必要な事項（身体面、健康面、通学面、IT 環境面、家庭面など） (※例) 自宅からのオンライン受講を検討しておりますが、自宅のインターネット環境の状況によって受講が難しい場合には対面を希望します。 <p style="text-align: right;">受講開始後、個別にご相談いただいても構いません。</p>

2025年度 聴講希望講義表

くじらと捕鯨地域活性化 (教室: 下関市立大学 本館 2F I-201 (予定)) ※教室は人数などで変更になる場合がございます。

チェック欄	講義コード	講義名	時限	開講日
「くじら」と「捕鯨」概論				
<input checked="" type="checkbox"/>	く-1-1	全体ガイダンス	9:00~10:30	4月12日(土)
<input type="checkbox"/>	く-1-2	くじらの基礎知識Ⅰ(種類、生態、魚類との違い等について)	10:40~12:10	
<input checked="" type="checkbox"/>	く-1-3	くじらの基礎知識Ⅱ(くじらが水産資源という考えについて)	9:00~10:30	4月26日(土)
<input checked="" type="checkbox"/>	く-1-4	捕鯨の基礎知識Ⅰ(捕鯨は漁業なのか?について)	10:40~12:10	
<input checked="" type="checkbox"/>	く-1-5	捕鯨の基礎知識Ⅱ(IWCと調査捕鯨、国際機関と管理について)	9:00~10:30	5月10日(土)
<input checked="" type="checkbox"/>	く-1-6	捕鯨の基礎知識Ⅲ(商業捕鯨再開と現状、漁業との競合について)	10:40~12:10	
<input checked="" type="checkbox"/>	く-1-7	捕鯨の歴史Ⅰ(世界の捕鯨史について)	9:00~10:30	5月24日(土)
<input checked="" type="checkbox"/>	く-1-8	捕鯨の歴史Ⅱ(日本の捕鯨史について)	10:40~12:10	
<input type="checkbox"/>	く-1-9	捕鯨の歴史Ⅲ(山口・下関の捕鯨史について)	9:00~10:30	6月14日(土)
<input type="checkbox"/>	く-1-10	くじらの利用と捕鯨文化Ⅰ(世界とノルウェーの捕鯨文化について)	10:40~12:10	
<input checked="" type="checkbox"/>	く-1-11	くじらの利用と捕鯨文化Ⅱ(日本の捕鯨文化と現状について)	9:00~10:30	6月28日(土)
<input type="checkbox"/>	く-1-12	これからの捕鯨と捕鯨産業(日本(山口・下関)の捕鯨産業について)	10:40~12:10	
「くじら」と「捕鯨」の地域活性化概論				
<input type="checkbox"/>	く-2-1	全体ガイダンス	9:00~10:30	7月12日(土)
<input type="checkbox"/>	く-2-2	水産経済から見た捕鯨Ⅰ(水産と捕鯨の政策について)	10:40~12:10	
<input type="checkbox"/>	く-2-3	水産経済から見た捕鯨Ⅰ(水産と捕鯨の政策について)	9:00~10:30	7月26日(土)
<input type="checkbox"/>	く-2-4	水産経済から見た捕鯨Ⅲ(加工等について)	10:40~12:10	
<input checked="" type="checkbox"/>	く-2-5	水産経済から見た捕鯨Ⅳ(販売金額、消費の推移について)	9:00~10:30	9月13日(土)
<input checked="" type="checkbox"/>	く-2-6	水産経済から見た捕鯨Ⅴ(戦前・戦後における捕鯨会社と捕鯨産業について)	10:40~12:10	
<input checked="" type="checkbox"/>	く-2-7	水産都市・下関の歴史・文化(「ふく」、「大手水産会社と遠洋漁業等」について)	9:00~10:30	9月27日(土)
<input type="checkbox"/>	く-2-8	水産都市・下関の現状と将来(水産都市・下関の現状と課題について)	10:40~12:10	
<input type="checkbox"/>	く-2-9	鯨肉が持つ特性と鯨文化(鯨肉の特性と鯨食文化について)	9:00~10:30	10月11日(土)
<input checked="" type="checkbox"/>	く-2-10	鯨食の普及啓発と取り組みについて(国内山口・下関の事例について)	10:40~12:10	
<input type="checkbox"/>	く-2-11	鯨の未利用部位を有効活用(鯨未利用部位を有効活用し、新たな製品化を目指す取り組みについて)	9:00~10:30	11月15日(土)
<input type="checkbox"/>	く-2-12	地域振興に「くじら」をどう活かすか(新たな捕鯨関連産業と地域振興について)	10:40~12:10	

※ 1講義あたり500円として受講料を算出の上、振り込みをお願いします。

※ この申込書に記載された個人情報は、リカレント教育センターへの当該受講に関する業務のみに利用されます。

(受講料納付について)

受講料を確認し、お近くの金融機関(ゆうちょ銀行を除く)の窓口、ATM、インターネットバンキング等でお支払いください。手数料はご本人負担となります。

《振込先》西中国信用金庫 山の田支店 (普) 0412010

合計講義数
12 講義

×500/講義

受講料
6,000 円

支払日 **2月9日**